

Graduation Policy(G P)

| | |
|--|-------------|
| 記入者氏名 | |
| 記入年月日 | 2006年4月1日 |
| 学部・研究科名 | 山口大学 工学部 |
| 学科・専攻等名 | 知能情報システム工学科 |
| コース等名 | |
| 細分名 | |
| 知能情報システム工学科の教育目的 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術者として社会に対する責任を自覚し、安全性を含めて社会へ及ぼす影響等を多面的に考慮できる能力を養う。 2. 技術者に必要な基礎的能力を養う。 3. 情報および情報関連分野に関する専門基礎と、問題発見および問題解決能力を養う 4. 情報プロセスをソフトウェアおよびハードウェアの融合体として実現し運用するための深い知識とその応用能力を養う。 5. 論理的に思考し、それを分かりやすく口頭および文書で表現し、自国・他国を問わず伝達できる基礎的なコミュニケーション能力を養う。 6. 社会の要求を解決する能力、自主的に学習する能力、計画的に遂行しまとめる能力を養う。 | |
| 知能情報システム工学科の Graduation Policy | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報および情報関連分野の技術者として社会に対する責任を自覚し、経済性、安全性を含めて社会へ及ぼす影響等を多面的に考慮しながら、技術を通じて人々の幸福を目指すという目標を理解し、技術的課題を解決できる能力を身につけている。 2. 情報および情報関連分野の知識と技術を修得するための基礎として、必要な数学、自然科学（物理、化学）および基本情報処理技術を身につけている。 3. 情報および情報関連分野に関する専門知識と、それを応用した問題発見および問題解決能力を身につけている。 4. 情報システムを情報の表現・蓄積・伝達・変換に関するプロセスとして捉え、この情報プロセスを処理するシステムをソフトウェアおよびハードウェアの融合体として実現し、運用するために理論・分析・設計・実現・評価の各方面にわたって見渡し、コンピュータエンジニア、コンピュータあるいはシステムエンジニアとして各種技術開発を推進できることを目標に、専門学習域のより深い知識とその応用能力を身につけている。 5. 理論的に思考し、その思考過程と結果を他者に分かりやすく口頭および文書で表現し、自国、他国を問わず伝達できる基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 6. 社会の動向に注意を払い、社会が求めている知識・技術を身につけ、そして研究開発の場に身を置くことでその方法を学び取り、持続的な問題解決能力を身につけている。 | |